

令和3年度 生田高等学校 年間指導計画

教科・科目	国語・古典A	学年	2	教科書	第一学習社「高等学校改訂版標準古典A」物語選
		単位数	2	副教材	・数研出版「八訂版 読解をたいせつにする 体系古典文法」 ・京都書房「新訂 国語図説 五訂版」

学習目標	古典としての古文や漢文を読む能力を養い、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めて、古典に親しむ態度を養う。																			
学習方法	・辞書を用いて語句の意味用法を正確に理解し、また、古典文法や漢文句法を的確に理解して、文章読解に役立てる。 ・適宜行われる小テストなどに積極的に取り組む。 ・古典を通してのさまざまな言語活動(読む、書く、話す、聞く)に取り組む。																			
学習評価																				
	<table><tr><th colspan="2">評価の観点</th><th colspan="2">科目の評価の観点の趣旨</th></tr><tr><td>a</td><td>関心・意欲・態度</td><td colspan="2">古文や漢文を読み、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典についての理解や関心を高めようとしている。</td></tr><tr><td>b</td><td>読む能力</td><td colspan="2">古典の文章を的確に読み取り、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとしている。</td></tr><tr><td>c</td><td>知識・理解</td><td colspan="2">古典に用いられている語句の意味、用法、及び文の構造を理解している。</td></tr></table>				評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		a	関心・意欲・態度	古文や漢文を読み、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典についての理解や関心を高めようとしている。		b	読む能力	古典の文章を的確に読み取り、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとしている。		c	知識・理解	古典に用いられている語句の意味、用法、及び文の構造を理解している。	
	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨																	
	a	関心・意欲・態度	古文や漢文を読み、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典についての理解や関心を高めようとしている。																	
	b	読む能力	古典の文章を的確に読み取り、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとしている。																	
c	知識・理解	古典に用いられている語句の意味、用法、及び文の構造を理解している。																		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c		
1	説話 随筆 物語 故事成語	14	十訓抄 徒然草 伊勢物語	古典文法基礎の確認	○	◎	◎	a・古文に対する興味を持ち、文法事項だけでなく文章の内容も読み味わおうとしている。 b・文章に描かれた人物・情景・心情などを読み味わっている。 c・文中に出てくる文法事項について正しく理解し、読解に役立てている。	授業観察 定期試験
				説話及び随筆文を読む	○	◎	◎		
				歌物語の読み方	○	◎	◎		
		10	画竜点睛 水魚之交	基礎となる句法の確認	○	◎	◎	a・漢文に対する興味を持ち、文法事項だけでなく文章の内容も読み味わおうとしている。 b・文章に描かれた人物・情景・心情・歴史的背景などを読み味わっている。 c・漢文の基本的な句法を正しく理解し、読解に役立てている。	
				故事成語の読み方	○	◎	◎		
				故事成語が日本にもたらしたもの	○	◎	◎		
2	物語 史伝	16	大鏡 平家物語	日記文学の特徴	○	◎	◎	a・古文に対する興味を持ち、文法事項だけでなく文章の内容も読み味わおうとしている。 b・文章に描かれた人物・情景・心情・歴史的背景などを読み味わっている。 c・文中に出てくる文法事項について正しく理解し、読解に役立てている。	授業観察 定期試験
				歴史と文学	○	◎	◎		
				中古～中世の文学史	○	◎	◎		
		12	鴻門之会 四面楚歌	『史記』の世界	○	◎	◎	a・漢文に対する興味を持ち、文法事項だけでなく文章の内容も読み味わおうとしている。 b・文章に描かれた人物・情景・心情・歴史的背景などを読み味わっている。 c・漢文中に出てくる文法事項について正しく理解し、読解に役立てている。	
				史伝と日本文学	○	◎	◎		
				句法、重要語句の確認	○	◎	◎		
3	和歌 文学史 物語	10	和歌	古今～新古今 和歌の読み方	○	◎	◎	a・和歌に対する興味を持ち、文法事項だけでなく和歌の内容も読み味わおうとしている。 b・和歌に表された情景や歌人の心情などを読み味わっている。 c・和歌の修辞法を正しく理解し、鑑賞に役立てている。古典文学史について系統づけて理解している。	授業観察 定期試験
				古典文学史	○	◎	◎		
		8	源氏物語	更級日記に見る『源氏物語』の魅力	○	◎	◎	a・古文に対する興味を持ち、文法事項だけでなく文章の内容も読み味わおうとしている。 b・文章に描かれた人物・情景・心情・歴史的背景などを読み味わっている。 c・文中に出てくる文法事項について正しく理解し、読解に役立てている。	
				『源氏物語』の世界とその魅力	○	◎	◎		
合計時数(50分授業)		70							